

## 町長室から

## 6月から

役場ではネクタイなしで勤務するクールビズに取り組んでいます。最近5月が高温で、6月に入ると低温が続くという傾向があり、前半は半袖では肌寒い日が続いており、クールビズと言うには違和感がありそうです。

待望久しかった給食センターの安全祈願祭が行われました。給食の無料化を実施し、対震度の低かった浦幌中学校を改築してから、子どもたちに安心安全、そして美味しい給食を提供するために、ウエット方式からドライ方式に転換する事が求められていましたが、財政的な目安がついたことから第3期まちづくり計画の後期計画を当初予定から前倒しして改築することにしました。

来々3月までの工期ですが、工事関係者の皆様に近隣の皆様に出来るだけご迷惑をおかけしないように無事故で完成していただくようお願いしました。

今年も万年交差点の花壇を「浦幌町コミュニティ運動推進協議会」の各団体の皆様の手により、宿根草と新しい花で飾っていただきましたが、役場前や

町内いたるところの花壇の整備を老人クラブを始めとして、町民の皆様の手で整備していただき、通行する人々の目を楽しませ、心を癒してくれています。

町外の人たちから浦幌町は綺麗な町だねと言われますが、町民の皆さんがほめられているように嬉しくなります。万年交差点の花壇では、雑草とりなどの花壇整備は月2回行われますので、多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

農協、森林組合、漁協などの総会が成功裏のうちに終了しましたが、昨年は5月の強風、6月7月の長雨、8月には4個の台風が襲来するという、過去に類を見ない気象現象で浦幌町の基幹産業である第1次産業は全てで大きな被害を被りましたが、そのような逆境の中にあつて、各組合の決算は利益剰余金を計上されていきました。これは各組合員の普段の努力の積み重ねであり、経営努力の賜物でありますだけに敬意を申し上げます。

先日、厚内地区で津波警報発令に伴う避難訓練をしましたが、突発的な大地震だけでなく、昨

年のように近年は異常気象に伴い、強風、大雨などの特別警報が頻繁に発令され、被害が甚大化する傾向にあります。いついかなるときでも、危険と向き合ったときの避難訓練は繰り返し行う事により、慌てず行動する事が可能となります。

また、突発的な災害では公的機関が出勤するいわゆる公助を待つていては、助からない場面もありますので、自らの判断で避難する自助と近隣が助け合う共助が必要になります。避難訓練の必要性とともに、町では地域防災組織の必要性を喚起していますが、なかなか組織化が進んでいないのが現状です。是非皆さんでお考えください。是非、皆様にお願ひ申し上げます。

アメリカのトランプ大統領は地球の温暖化はでっちあげだと全面否定し、地球温暖化対策の最後の砦といわれたパリ協定から「私はパリでなく、ピッツバーグ市民に選ばれた」と鉄鋼産業界の名前を挙げて、環境よりアメリカ産業界を守ると宣言して離脱しました。母なる地球環境を守ろうというパリ協定は難産のすえによりやく決まり、世界

196カ国・地域が参加しているだけに、世界第2位の温暖化効果ガス排出国であるアメリカの離脱はあまりにも独善的だと国際社会から批判を呼んでいます。

しかし、当のピッツバーグでは市長が「ピッツバーグ市長として、我々はパリ協定に従うことを断言する」と即座に反論し、大統領に肘鉄を食らわせました。カルフォルニア、ニューヨーク、ボストン、サンフランシスコ、ロサンゼルスなどのアメリカの各州では連邦政府とは別にパリ協定を遵守すると明言していることは救いでもあります。

ロシアがトランプ大統領はどうか。ロシアのトランプ大統領はどうか。

北朝鮮の挑発的な政治的な動きと言う地政学的な問題への対処など注目とともに危惧せざるをえないところです。

浦幌町長 水澤一廣